

六花会だより

リッカカイダヨリ ソウフウ

<http://www012.upp.so-net.ne.jp/t-kinen/>

爽風

第8号

2005/01/13

医療法人六花会

館林記念病院

広報委員会

あけまして

おめでとうございます



淡々と診療をつづけているうちに、在職年数のトップになってしまいました。この間、多くの新しい職員が加わり、今日では160名に達しています。

患者様の心に残る病院を目指して、日々努力しておりますが、まだまだ満足していただける体制とは思えません。

「人にやさしい病院」を目指し、職員一同心を一つにして取り組みたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

院長 堀越 裕一



Dr 内田写真館

驀進 ~ ばく

しん ~

雪の中を出発するSL。製造されてから60年以上経った今でも元気な姿が見られます。

新年おめでとうございます。

今年は、混合診療の解禁などますます患者負担増の厳しい時代が訪れた感があります。

当院ではこうした現状を踏まえて混合診療の反対の署名運動をおこないました。医療費負担、保険料アップ、入院期間の短縮など、時代の趨勢とはいえ、厳しいの一言に尽きます。

患者さんが安心して入院生活を送っていただけるよう、退院時の転院・入院先の紹介・在宅介護サービスの案内などの、相談業務の充実を図っています。どんな小さなことでもお答えいたしますので、ご相談いただければと思います。

本年も引き続き皆様方との信頼関係を大切にし、最新の医療、看護、介護サービス



事務長
西條 宜治

新年のスタートを迎え、今の「医療」を改めて考えてみました。広辞苑によると「医療とは医術で病気を治すこと」とありますが、近年に於いての医療で求められているのは、サービス業としての医療に対する要求です。健康を維持するためのヘルスケア・福祉に近い療養と言う具合に、保険・医療・福祉を統合した、広い範囲を医療サービスとして考えています。昨年末に受付に揚げた「人にやさしい病院」を実践するために、当院の考え方の基とも言える「チーム医療」を軸に、一人一人の患者様とのかかわりを大切にしたいと思っています。

「チーム医療」とは、各専門職が専門的な視点で、患者様が抱えている問題を解決するために対処していく事を言います。病気だけでなく療養上のケア・リ



看護部長
世鳥山 恵美子